

新たな食料・農業・農村基本計画について

食料・農業・農村をめぐる情勢と施策の評価

- 高齢化や人口減少の影響による、国内市場の縮小や農地等の維持管理への支障の懸念
- 新興国の経済成長等による世界の食料需給への影響、グローバル化の進展
- 社会構造やライフスタイルの変化による消費者ニーズの多様化・高度化
- 農地集積の進展、法人経営体の増加、企業の参入拡大、農業者の高齢化等の農業構造の変化
- 介護食品等の新分野の開拓、ICT・ロボット技術の導入等への期待
- 東日本大震災からの一日も早い復旧・復興が必要

基本的な視点

- 農業・食品産業の成長産業化に向け、以下の視点から改革を推進
 - ・ 農業者等が中長期的な視点で経営展開できるよう、施策の方向の安定性を確保
 - ・ マーケットインの発現による消費者ニーズへの的確な対応など、需要や消費者視点への立脚
 - ・ 担い手が意欲的に経営発展に取り組むことができる環境の整備
 - ・ 経営や技術、農地や農業用水等の継承や気候変動への対応など、持続可能な農業・農村の実現
 - ・ 農業者の所得向上と農村のにぎわいの創出

目標・展望等

食料自給率の目標

- ・食料消費の見直し
- ・生産努力目標
- ・総合食料自給率(カロリーベース、生産額ベース)
- ・飼料自給率

食料自給力(食料の潜在生産能力)

- ・食料自給力指標

農地面積の見直し

農業経営等の展望

農業構造の展望

農林水産研究基本計画

【基本計画と併せて策定】

農業経営等の展望

活力ある農山漁村づくり
に向けたビジョン

講ずべき施策

食料の安定供給の確保

- 食品の安全と消費者の信頼の確保
- 食育の推進と国産農産物の消費拡大、「和食」の保護・継承
 - 生産・加工・流通過程を通じた新たな価値の創出による需要の開拓
- グローバルマーケットの戦略的な開拓
 - 様々なリスクに対応した総合的な食料安全保障の確立
 - 国際交渉への戦略的な対応

農業の持続的な発展

- 力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保
 - 女性が能力を最大限発揮できる環境の整備
 - 農地中間管理機構のフル稼働による担い手への農地集積・集約化と農地の確保
 - 担い手に対する経営所得安定対策の推進、収入保険制度等の検討
- 構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備の推進
 - 需要構造等の変化に対応した生産・供給体制の改革
 - コスト削減や高付加価値化を実現する生産・流通現場の技術革新等の推進
 - 気候変動への対応等の環境政策の推進

農村の振興

- 多様な地域資源の積極的活用による雇用と所得の創出
- 地域コミュニティ機能の発揮、多面的機能支払制度の着実な推進等による地域資源の維持・継承等
- 観光、教育、福祉など多様な分野との連携による都市と農村のつながりの強化

東日本大震災からの復旧・復興

団体の再編整備等
(農協、農業委員会、農業共済団体、土地改良区)